

2025年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 島 田 卓
(コード番号：6190 東証グロース)
問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘
(TEL 082-431-0016)

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月15日に公表しました2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	895	76	77	73	18.15
今回実績(B)	756	5	16	12	3.03
増減額(B-A)	△139	△70	△60	△61	—
増減率(%)	△15.6	△92.6	△78.8	△83.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	788	△98	△123	△124	△30.89

2. 2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正
(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,759	167	168	161	39.87
今回修正予想(B)	1,640	109	116	110	27.13
増減額(B-A)	△118	△57	△51	△51	—
増減率(%)	△6.7	△34.3	△30.7	△31.7	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	1,541	△142	△155	△448	△110.99

3. 差異及び修正の理由

第2四半期（中間期）連結累計期間の業績につきまして、主要顧客である海外製薬企業において開発予算の抑制が続く厳しい市場環境のなか、既存顧客からPXBマウス販売の追加受注がありましたが、見込んでいた大型の受託試験案件を複数失注するなど受注高は計画値の約81%に留まりました。売上高については、受託試験の受注減少や海外市場でのPXB-cells販売が不調であったことから、計画未達となりました。損益面は外注費や消耗品費などの経費が想定より発生しませんでしたでしたが、売上高の減少が響き、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は計画値を下回りました。

通期の連結業績予想につきましては、海外製薬業界での不安定な経済状況が継続するとみられ、受注高は上期の受注状況を踏まえ、当初の計画値から約14%減少を見込んでおります。売上高は受注計画の減少を反映して、修正いたします。経費は見直しを行い、総製造費用で約8%、販売費及び一般管理費で約3%削減しておりますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、売上高の減少に伴い、それぞれ計画値を下方修正いたします。

なお、想定為替レートにつきましては、現在の状況を鑑みて1ドル143円から148円に変更しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上